

令和7年8月25日

復興庁

令和7年度「語り部団体ハンズオン支援事業」選定結果について

復興庁では、被災地において伝承活動に取り組む団体が、自らの活動を拡充・創出しながら「地域内での協力体制」や「地域内外とのネットワーク」を構築しつつ自走的に活動していく力を増進できるよう、各語り部団体のニーズに応じた伴走的な支援として、「語り部団体ハンズオン支援事業」を実施いたします。

この度、本年7月1日より募集をさせていただいていた、本事業における支援対象団体を次のとおり選定しましたので、結果を公表いたします。

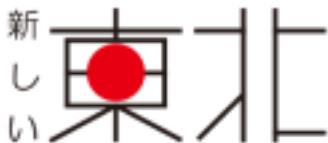
○ 支援対象団体 2団体

- 一般社団法人ボランティア東北ファミリア（宮城県本吉郡南三陸町）
- 社会福祉法人南三陸町社会福祉協議会（宮城県本吉郡南三陸町）

※ 詳細は別紙をご覧ください。

【資料】

○ 別紙 語り部団体ハンズオン支援事業 支援対象団体



本件連絡先：
復興庁復興知見班 隊内、村田
TEL : 03-6328-0223

令和7年度「語り部団体ハンズオン支援事業」支援対象団体

1. 一般社団法人ボランティア東北ファミリア（宮城県本吉郡南三陸町）

＜取組概要＞

朗読劇形式の語り部活動を継続的に行うほか、取組を他の被災地を始めとした他地域などに広く展開できるよう、脚本作りのベース作業である被災者からの聞き取りノウハウの言語（マニュアル）化や、“朗読劇＋ワークショップ”をパッケージとしたプログラム作り、知名度向上やネットワーク強化に向けたSNSの効果的活用に対する支援等を行う。

2. 社会福祉法人南三陸町社会福祉協議会（宮城県本吉郡南三陸町）

＜取組概要＞

10年以上かけて延べ100万回以上被災者への個別訪問を行ったノウハウ・知見を広く語り継ぐために、その継続的実施に向けた人員等リソースの確保・配分の検討支援や、保健士をはじめとした町内の外部関係主体との情報交流・協力のあり方の具体化、社協の戸別訪問員に蓄積された支援ノウハウの資料化と訪問員の語り部スキルの向上に向けた研修等を行う。